



夏の開園はあとわずかです 10/18まで無休
9:30~17:15 (入園は16:15迄)
ASAHIYAMA ZOO

発行所
旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104

外来生物展 開催中



その隣には「アズマヒキガエル」を展示しています。旭川市内で捕獲しましたが、その数の多さに驚きました。

今年で第8回目の開催となる「外来生物展」を9月から始めました。キリン横の動物資料展示館前のプールの中には、アメリカザリガニとナイルティラピアがいます。旭岳温泉付近で、調査のために捕獲しました。どちらも、外来種です。ティラピアは食用やペットとして飼育されていたものが、逃げたり放されて定着し、繁殖までしているのです。



外来生物展ガイドツアー
外来生物について、楽しく解説をします。一緒に学びましょう！ (実施は不定期、園内放送等でお知らせします)

このような外来生物の現状を詳しく展示していますので、ぜひ動物資料展示館までお越し下さい。記念品が当たるクイズラリーにも挑戦してみてくださいね。

アライグマは北アメリカ原産の動物ですが、北海道にも定着し増え続けています。畑のトウモロコシやメロンなどが食べられる被害など影響は大きく、環境省により駆除活動が行われています。何よりも知っておかなければならないのは、地元の昆虫やニホンザリガニ、野鳥が食べられたり、エゾタヌキ、キタキツネたちが生活圏を荒らされて、生態系のバランスが崩れつつあることです。



外来生物(外来種)とは…
本来は生息していない地域へ人によって運ばれ、野生化した生き物のことを言います。なぜ生き物を連れてきたのか？それはペットにするためや、農業や産業に利用するためなど理由は様々です。それらが、逃げたり、人が野生に放したりしたものが、定着しています。

てながざる館がオープンしました

8月29日にオープンした「てながざる館」。その前後の様子をお伝えします。オープン前の18日には放飼場にロップをぶら下げました。テナガザルの動きを引き出せるロップの長さ、全体のバランスを考えながら結んで完成です。



オープニングセレモニーを迎えた日、テナガザルの様子です。テナガザルたちは元気に屋外放飼場に飛び出し、ロップを使って移動したり、高いところで休んだりしています。この時、オランウータンのジャックや、チンパンジーたちは「てながざる館」を観察していました。大型類人猿たちも、小型類人猿・テナガザルのことが気になるようです。「てながざる館」の位置からは類人猿3種が一度に見渡せるので、ぜひ見比べてみましょう。



「ボルネオへの恩返し」プロジェクト

てながざる館横に自動販売機が設置されました。売り上げ金額の一部が「ボルネオへの恩返し」プロジェクトとして、BCTジャパン(ボルネオの自然環境を守り、野生動物との共生を目的としている団体)に寄付される仕組みになっています。身近にできることが、環境保護活動に繋がります。



児童動物画コンクール入賞作品を展示しています。やすらぎの森休憩所(ほっきょくぐま館裏)にて10/18まで。